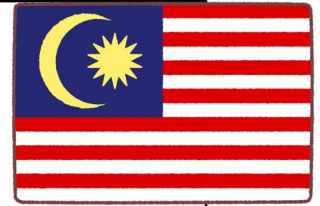


マレーシア通信 (NO.4)

青年海外協力隊からの報告



2022 年度 3 次隊 まついじゅんぺい
松井 絢平

Selamat Pagi(おはようございます)。青年海外協力隊として派遣中の松井です。
2023 年 2 月からマレーシアのコタキナバル (サバ州) で活動しています。今回は、
マレーシアの自然環境について紹介しようと思います。

どのような気候なのか？

マレーシアは熱帯雨林気候に属しており、年間を通して高温多湿となっています。通常、乾季・雨季の二つの季節しか存在しません。雨季では激しいスコールが頻繁に降るため、傘が必須です。また、ボルネオ島は台風の発生源が近く、その影響で天候が悪くなる時があります。



熱帯雨林内でのスコールの様子

マレーシアの平均気温 28℃で、日中は 30℃を越えます。一見暑そうに思えますが、7～9月頃の日本の夏より涼しいです。現地に住んでいるマレーシア人は日中乗用車を使用するため、昼間に出歩く人＝観光客という見方が強いそうです。治安の問題もあるため、マレーシアを訪れる際は気を付けてください。

どのような動植物が生息しているのか？

有名な動物にオランウータンが挙げられます。オランウータンはマレー語で「森の人」と呼ばれています。ボルネオ島内にはオランウータン保護区があり、森林伐採によって行き場を失った野生のオランウータンが保護されています。



左から順にオランウータン、ホーンビル、マレーゾウ、テングザル

他に有名な動物にホーンビル、マレーゾウ、テングザルが挙げられます。頻度の差はありますが、どの生物も森の中やマングローブ林内で出会うことができます。

植物ですが、ラフレシアやウツボカズラが生息しています。どちらも時期に関係なく年中見ることができます。なお、世界に22種類とあるラフレシアですが、ボルネオ島北部に咲くラフレシアは臭うことはありません。



左から順にラフレシア、ウツボカズラ

次号は「マレーシアの交通事情」に紹介します。